

物理学コース・物理学専攻 就職ガイダンス

物理学専攻 修士2年

HUくん

説明の流れ

- プロフィール
- 私の就職活動
- 就職活動を終えて感じたこと
- 最後に、言いたいこと

プロフィール

•物理学専攻 修士2年 ESR物性研究室

•研究テーマ 「走査型トンネル顕微鏡を用いたDNAの構造解析」

•内定先 本田技研工業 研究職



•応募方法 自由応募 物理に推薦はありません

The background is a dark, rich brown wood-grain texture. In the bottom-left corner, a blue pen with gold-colored accents is visible. In the top-right corner, a portion of a glass with a metallic rim is visible.

私の就職活動

私の就職活動

• 就職活動時期 12月～4月

内定をもらう

12月

1月

2月

3月

4月

物理学会

学内企業セミナー

企業オリジナルセミナー

選考(2社)

選考(7社)

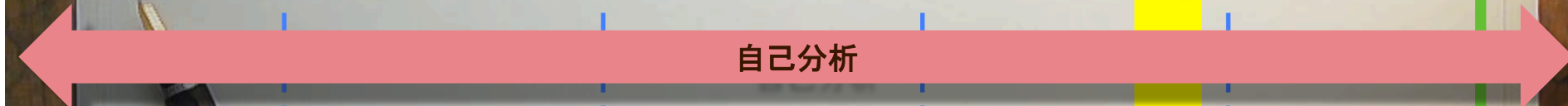
選考(2社)

選考(2社)

ESラッシュ!!

SPIの勉強

自己分析



12月

•学内企業セミナー

- 首都大の学生が欲しいから来ている
- 今後、企業セミナーに割く時間がなさそうなので、真剣に聞いた
- 1日3社くらいまわった

•自己分析

- 1冊丸々やっただけ でも、全ての設問をやった
 - 「今そんなこと言われても、分からないよ、、、。」という設問も真剣に考えた（例、20年後の自分は何をしていますか？）
- ⇒自己分析に終わりはない。内々定が出て納得するまで考え続ける

1月

•学内企業セミナー

- 去年は1月もやっていた

•企業オリジナルの説明会

- 週1、2で参加 土日でも構わず
- あまり時間が無いので、興味ある会社に絞って参加

•2社 受けてみた

- 選考が比較的早い会社(例、外資系 IT系)をあえて受けた
- 選考の雰囲気や流れなど、早めに実際に知っておきたかった
- 内定が出たら、行きたいと思える会社を受ける (真剣にやらないから)
- 反省点を次に活かせると考えた

•SPI(テストセンターなど)を受ける

- 本を一冊やっただけ やりすぎない方が良い

•自己分析

2月

•企業オリジナルの説明会

- 週に3、4社くらいのペース
- 企業ごとの個性を知る
- 遅刻は厳禁（チェックされる。ある企業では参加者リストに説明会に来た順番に番号をふっていた。）

•初めてエントリーシート・履歴書を作成、提出

- 真剣に作成（行きたい企業にしたから）
- 自己分析を真剣にやったせいか、比較的容易に作れた
- 他人に一度読んでもらうと良い

•初めての面接

- 一応、質問されやすい事柄の回答を事前に考えておいた
- 自己PRを15秒 30秒 1分 3分バージョンを考えておいた

•2社とも 落ちる...（2次面接と最終面接で）

- 落ちた面接を振り返り、しっかりと反省する

•自己分析

3月

•7社 受けてみた

- 電気業界 自動車部品業界 素材業界 化学業界
- 大手のみででなく、中小企業も一緒に受ける

•7つのエントリーシート(ES)の作成

- 大手のESの提出期限だいたい3月中旬～下旬 (ESラッシュ)
- 7社のES提出日が10日間内に収まる
- 自己分析をしっかりとできていないと、7つもすぐに書けない

•SPI&webテスト ラッシュ

- 企業によってテスト形式が違うから注意 ネットや就活本で調べる

•企業オリジナルの説明会

- 週3で参加
- 自己分析で判明した、自分のやりたいことが出来る会社に絞って参加

•自己分析

4月

- 7社中4社が一次選考(ES)で落ちる

- へこむ

- すぐに追加して2社受ける(大手と中小企業)

- 選考中の企業を0にしたら時間がもったいない

- 人気企業は基本的にこの時期を過ぎると募集がなくなる

- 内定をいただく

- 本当にこの企業で良いか、後悔はないか、もう一度考える(内定ブルーにならないために)

- 選考中の企業に辞退の連絡や説明会のキャンセル

- 忘れないように

- 自己分析(内定を納得するまで)



・就職活動を終えて感じたこと

就職活動を終えて感じたこと

自己分析編

- **自己分析は就職活動において、一番大切**

⇒自己分析がしっかりできていないと、志望業界・志望職種・ES作成・面接がうまくできない

⇒絶対にテキストにやってはいけない

- **自己分析の本を一冊完璧にやる**

⇒答えづらい設問もしっかりと考えて、答えを出す

⇒やり終えた設問も、良い答えが浮かんだら書き加える

- **自己分析に一番時間を使った**

⇒自分の考え、自分の優れているところ、自分は何がしたいのか、この辺はかなり深く考えた

就職活動を終えて感じたこと

説明会編

- **30分前に指定場所に着くように行動する**
 - ⇒道に迷うことも考慮しておく
 - ⇒遅刻、スッポカシは厳禁！
- **事前にその企業の疑問部分を明確にしておく**
 - ⇒質問しやすい
 - ⇒企業理解がはやくなる
- **しっかりメモをとる**
 - ⇒メンドクサイだろうけど、そのうち絶対に忘れるから
 - ⇒ES・面接の材料にもなるので、具体的な内容もメモをする
 - ⇒ホームページ・パンフに載っているような情報はメモしない

就職活動を終えて感じたこと

エントリーシート編

• 良い内容を書いても、読みづらかったら意味が無い

⇒長い文章は分ける

⇒論理的に書く

⇒箇条書きを使ってもよい

⇒絶対に一度他人に見てもらった方が良い（先生 先輩 友達 就職課）

• 自己分析をしっかりやっていたら、書ける

⇒設問ごとの書く内容を、互いにリンクさせると良いらしい

⇒罫線を書いて、しっかり下書きをして、丁寧に書く めんどくさくても

• 提出前に、絶対にコピーをしておく

⇒面接対策に必要 ESと違うことを面接で言わない為にも

就職活動を終えて感じたこと

SPI編

- 1月頃の空いた時間に一通り勉強しておくの良い

- ⇒直前に一から勉強してる暇は無い

- ⇒出来ない部分を集中的にやるなど、要領よく

- 直前は実際のテスト形式に即した問題集をやる

- ⇒時間もきちんと測って模擬試験を試してみる

- ⇒企業によってテスト形式が違うから注意 ネットや就活本で調べる

- 何回か受けて慣れる

- ⇒第一志望の前に、練習で他を受けておくの良い

就職活動を終えて感じたこと

面接編

•ESと矛盾する内容はしゃべらない

- ⇒これやると、ほぼ落ちる
- ⇒よく聞かれること「志望動機」「学生時代頑張ったこと」「他にどのような企業を受けているか」「研究内容に対する質問」「競合他社じゃなくてなんでウチなの」「最後に何か質問ありますか」

•結論から先に言う

- ⇒その方が明瞭で言いたいことが伝わりやすい
- ⇒結論を言ったあと、「なぜならば～」と付け加える

•「面接(会話)を楽しもう」という気持ち

- ⇒緊張がほぐれ、頭がクリアになる

•やっぱり、第一印象大事

- ⇒面接会場に入ったその瞬間、さわやかな笑顔を
- ⇒不潔さをだしてはならない（ひげ、シャツのしわ等）

就職活動を終えて感じたこと

その他

•手に入る情報は全て手に入れる

- ⇒説明会、ネット、就職課、先生、OB、友人、親、親戚などをつかう
- ⇒情報は、もっていたもん勝ち

•要領の良い人、元気で明るい人が強い

- ⇒頭が良い人がみな内定をもらっているわけではない
- ⇒少ない時間の中で、効率的に

•修士は研究成果・説明が大事

- ⇒研究職の場合、問われているのは研究能力と研究説明能力
- ⇒工夫したところ、努力したところ 問題解決能力をアピール
- ⇒研究説明の際に、自ら資料を作って面接にもっていった
- ⇒研究を疎かにしてはならない

•気分転換もした方が良い

- ⇒空いた時間にでも運動をしたり、友人と遊ぶ
- ⇒4~6ヶ月も頑張り続けるのは無理 適当に息抜きをする

A dark wood-grain background with a blue pen and a glass in the corners.

最後に、皆さんに言いたいこと



小学校	6年
中学校	3年
高校	3年
大学	4年
大学院	2年

社会人 40年

それでも、テキストに就職活動しますか？

~~まあ、なんとかあるだろう、...~~



なんとかしなければならぬ！！

この先40年、後悔はしたくない。
真剣にやって、絶対に損はない。



皆さんの成功を願っています！

真剣に頑張ってください！

この後も残っていますので、
質問のある方はどうぞ